

参考資料

第22回 滋賀県税制審議会

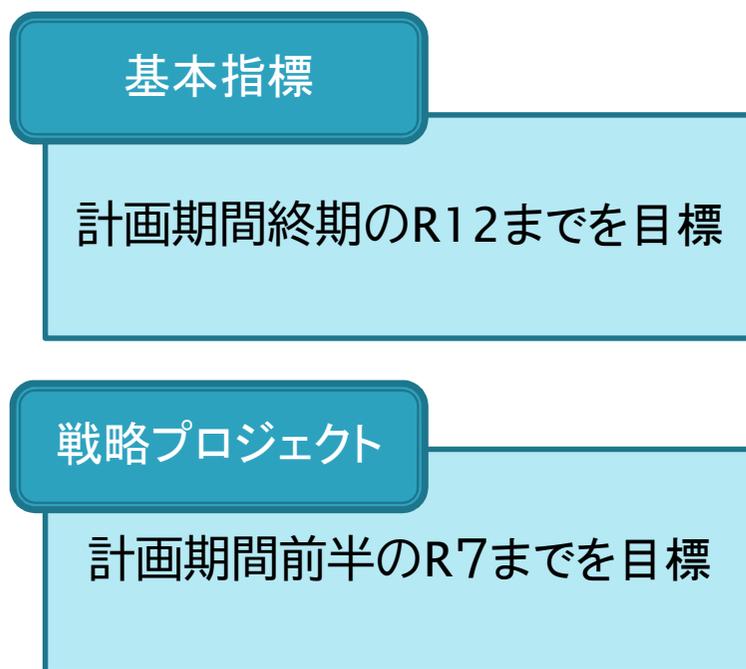
滋賀県の森林政策の成果と
課題について

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

琵琶湖森林づくり基本計画の進行管理



▶ 成果指標の設定と進行管理



毎年度事業の実施状況を点検し、森林審議会において評価



この事業は「琵琶湖森林づくり県民税」を活用して実施しています。





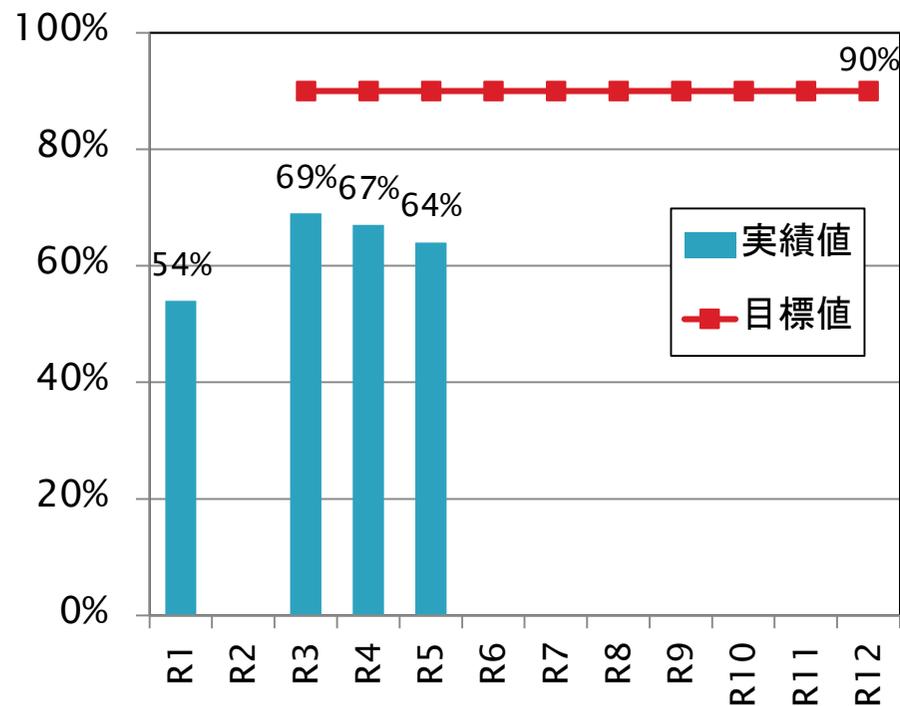
施策1 関連

- ▶▶ 多面的機能の持続的発揮に向けた
森林づくり



基本指標の達成度

▶ 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合



・利用期を迎え高齢化する林分構成により、保育間伐をはじめとして森林整備の実施面積は減少する傾向にあるが、搬出間伐や針広混交林化を着実に実施。

・間伐等の森林整備実施面積(R5) 1,674ha(目標2,600ha)

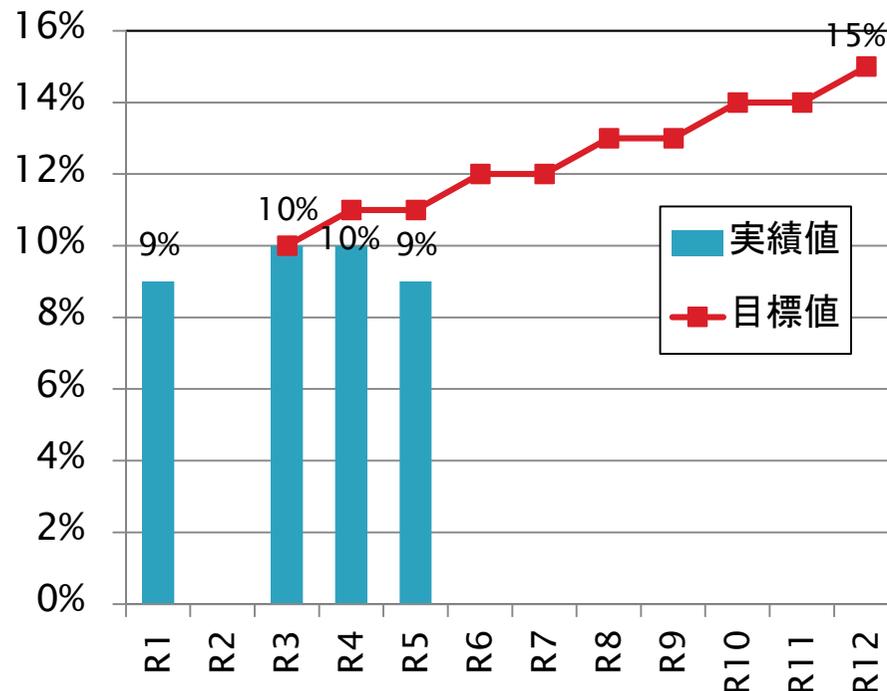
・うち環境林整備事業240ha





基本指標の達成度

▶ 民有林の森林経営計画カバー率



・森林所有者等が、森林の施業および保護について作成する5年間の計画

・新規樹立計画はあるものの、森林整備を行った後、更新しない計画も見られることから、カバー率としては伸び悩んでいる。

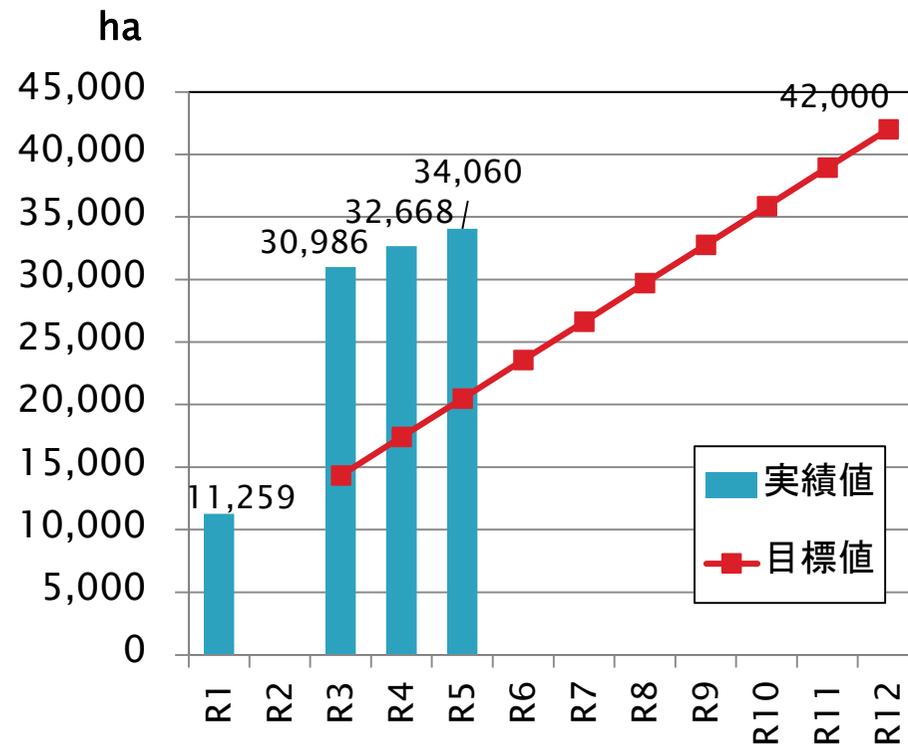
(経営計画作成面積 16,660ha、森林面積 183,907ha)





基本指標の達成度

▶ 合成公図作成面積(累計)

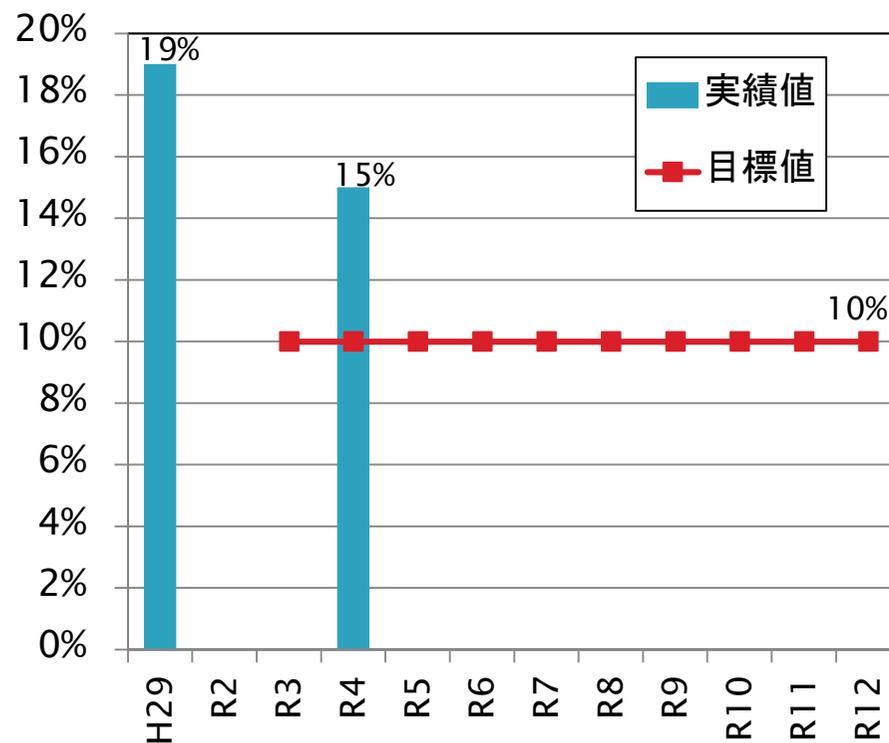


- ・法務局の公図を現地の植生や谷尾根形状に合わせて調整したもので、境界明確化の資料として活用。
- ・人工林のまとまっている主要な箇所については合成公図を作成できた状況。今後も引き続き優先度の高い箇所を中心に年間1,000ha程度の合成公図作成を順次進めていく。



基本指標の達成度

▶ 下層植生衰退度3以上の森林の割合



- ・県内の天然林の定点180か所で下層植生の状況を調査(5年ごと)
- ・衰退度について、やや改善が見られた。ただし、これまで食害のなかったエリアで新たに食害が広がっているため、引き続き対策が必要。
(R5ニホンジカ捕獲数 14,268頭)



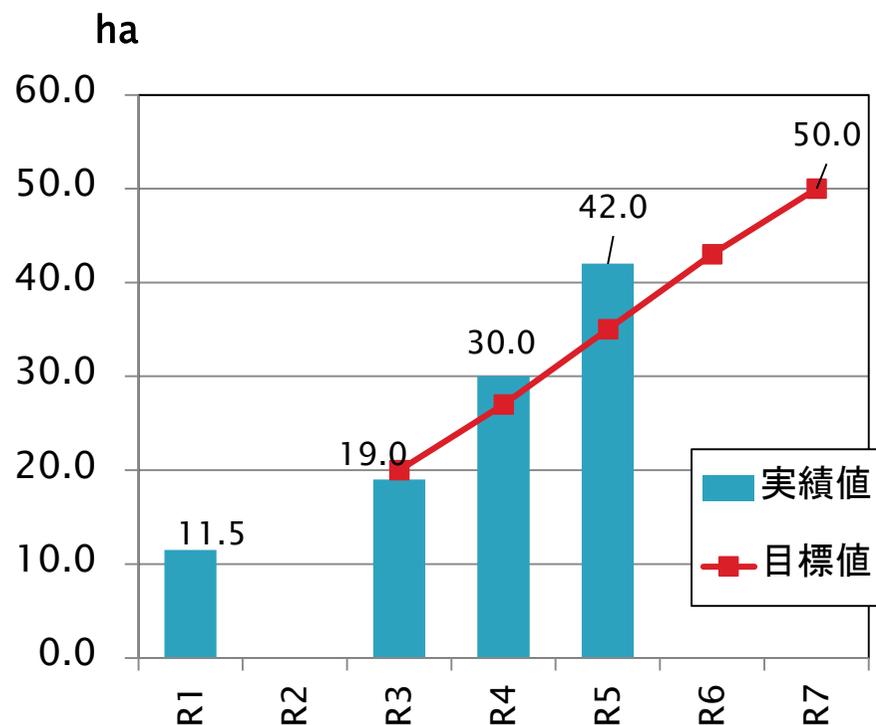
戦略プロジェクトの達成度



Mother Lake Goals

▶ 花粉の少ない再造林促進プロジェクト

○ 年間再造林面積



・再造林について、補助率の見直し等の強力な支援や森林所有者等への働きかけを行い、目標を達成することができた。

・R5の再造林のうち、次世代森林育成対策事業による防護柵の支援8ha



戦略プロジェクトの達成度



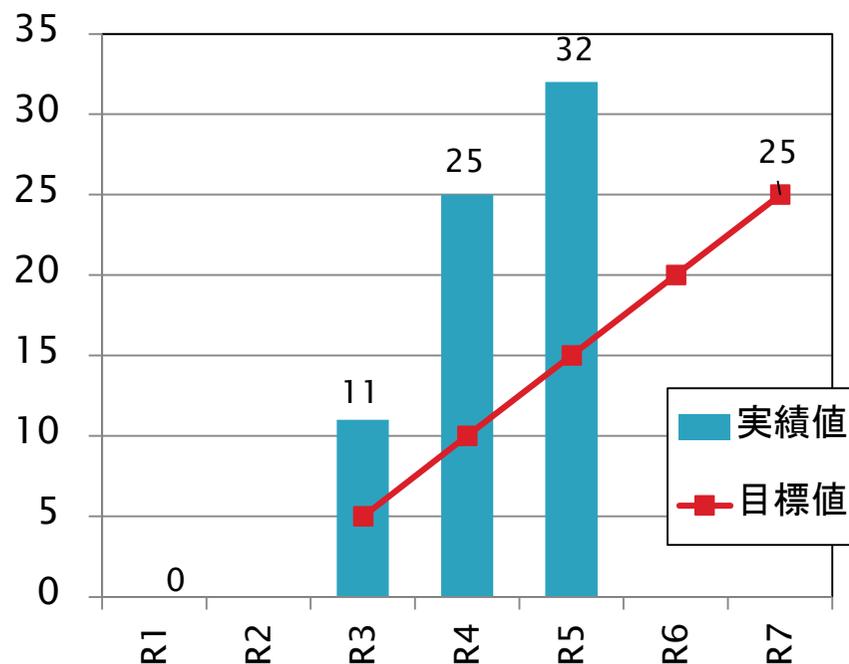
Mother Lake Goals

▶ 災害に強い森林づくりプロジェクト

- ライフライン保全整備箇所数(累計)



箇所



- ・市町、森林所有者およびインフラ施設管理者と連携し、インフラ周辺の森林整備等に取り組んだ。
- ・主に、災害に強い森林づくり事業により実施。(R5 1ha)





その他の成果

▶ 森林づくり県民税を活用した事業

- 水源林の土地取引の把握や、「水源林保全巡視員」による森林被害の情報収集等、適切な管理を実施。
- 森林の多面的機能の発揮に必要な森林管理手法に関する調査研究を実施。
- 巨樹・巨木林を保全する団体等が行う巡視や巨木見学会に対する支援を実施することにより、多様性に優れた森林を保全。
- 架線集材への支援、林業機械のレンタルの支援、間伐材の仕分け・ストックの支援を行うことで、効率的な木材搬出を支援し、利用される木材を増加させCO2ネットゼロ社会づくりに寄与。





対応すべき課題

▶ 見直しの方向性

- 花粉発生源対策に資する主伐再造林の推進・再造林の確実な実施
- 伊吹山など局地的な土砂災害・豪雨への迅速な対応と、森林整備等の実施
- カーボンニュートラル、GX^{*}、生物多様性に資する森林整備の推進
- 森林の公的管理に向けた検討
- 航空レーザー測量など詳細なデータやICTを活用するスマート林業の一層の推進
- 企業との連携の強化による森林整備の推進

※グリーンTRANSフォーメーションの略。簡単に言うと、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと。



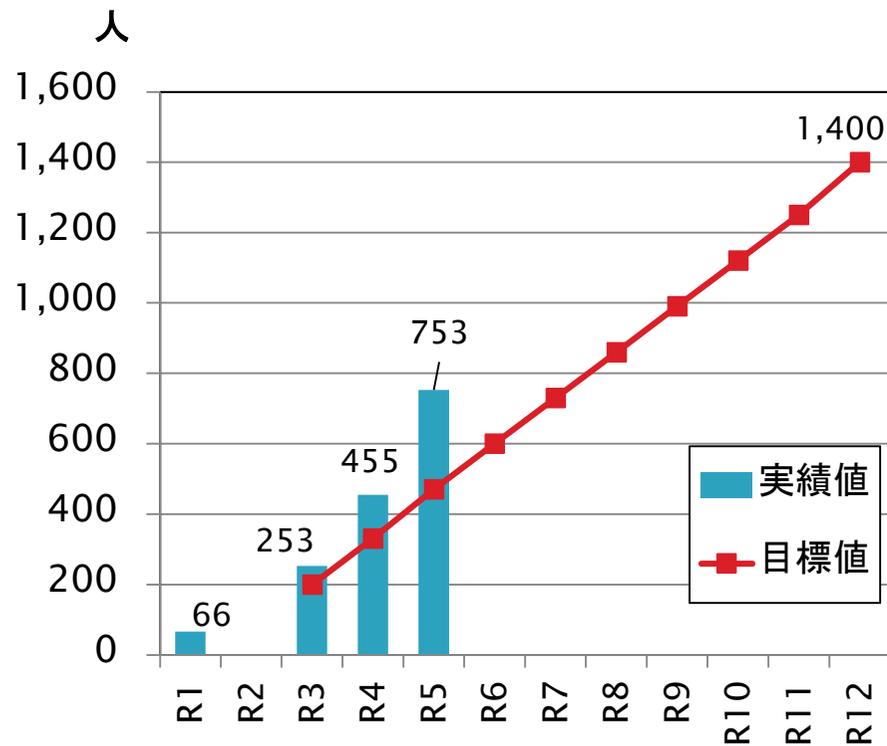
施策2関連

- ▶▶ 多様な主体との協働により進める
森林・林業・農山村づくり



基本指標の達成度

▶ 森林づくりに関する講座等への参加者数(累計)



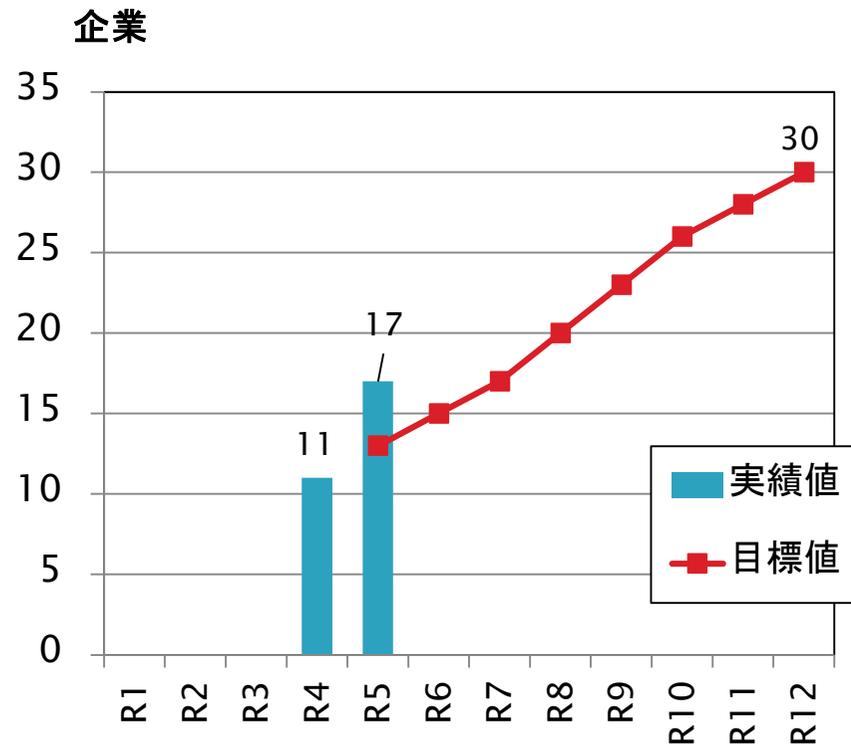
- ・森林づくりに関心を持ち、積極的に関わる人材を養成するために、県や市町等が実施する講座や研修会等への参加者数を集計
- ・森林づくりに関わる人材の育成が進んだ。





基本指標の達成度

- ▶ 「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数
(累計)



- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・都市部(企業)の多様なニーズに応えられるよう、「琵琶湖森林づくりパートナー協定」をはじめとする「都市とやまをつなぐ」メニューの整備や体制づくりに取り組むとともに、人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりへの支援を行った。



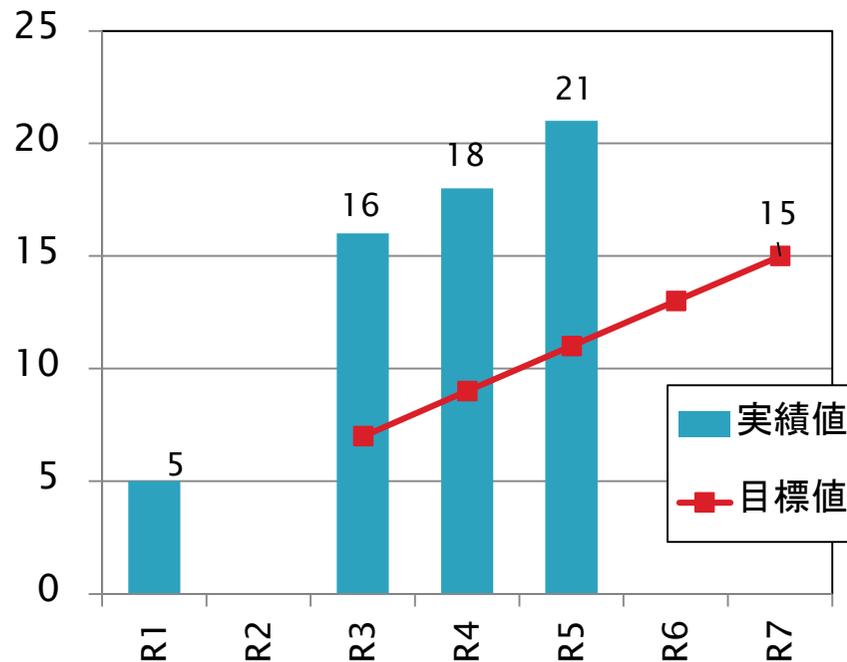


戦略プロジェクトの達成度

▶ 「やまの健康」推進プロジェクト

- 地域資源の活用に取り組む森林・農山村団体の数(累計)

箇所



- ・ 「やまの健康」モデル地域の関係団体やその他地域で活動する団体に対し、地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について支援した。
- ・ R5森の恵み活用促進事業 7団体に助成。



スギ・ヒノキのアロマオイル
(森林資源活用)

その他の成果と対応すべき課題



Mother Lake
Goals



▶ 森林づくり県民税を活用した事業の成果

- 地域住民等で構成される活動団体が、里山の保全や森林資源の活用を行う取り組みに支援(R5 15団体)することで、多様な主体による森林整備を推進。
- 第72回全国植樹祭の開催(R4)や10月のびわ湖水源のもりづくり月間の普及啓発の取り組みにより、県民の主体的な参画が促進。

▶ 見直しの方向性

- カーボンニュートラル、GX、生物多様性に資する森林整備の推進
- 企業との連携の強化による森林整備の推進、農山村地域の活性化



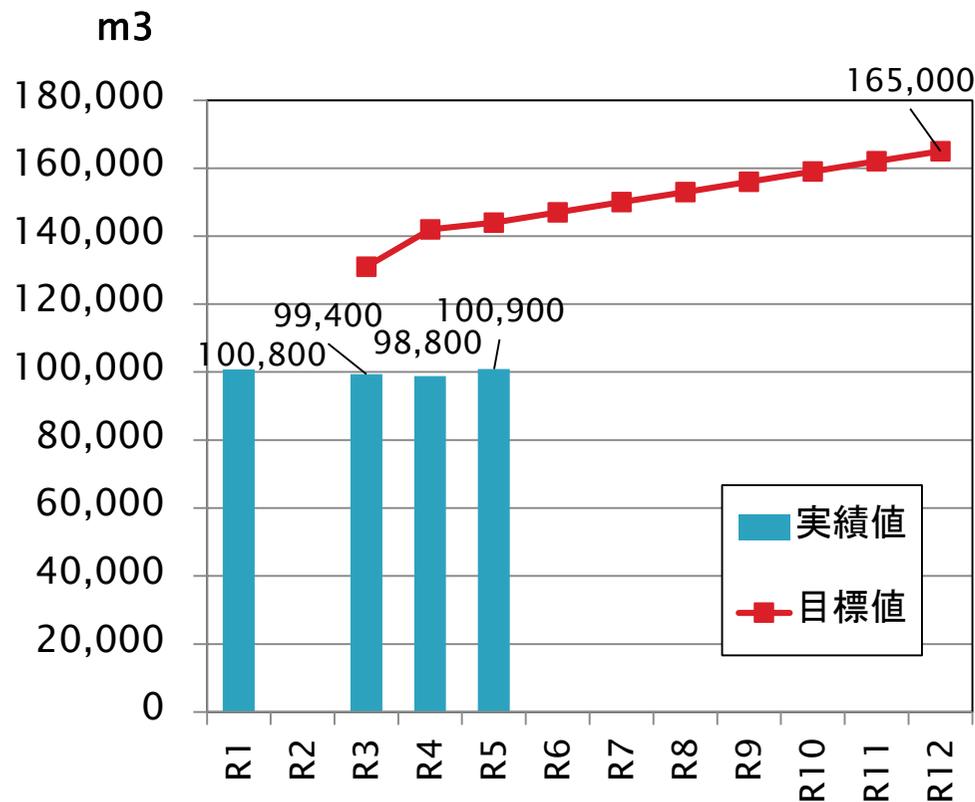
施策3関連

- ▶▶ 森林資源の循環利用による林業の成長産業化



基本指標の達成度

▶ 県産材の素材生産量



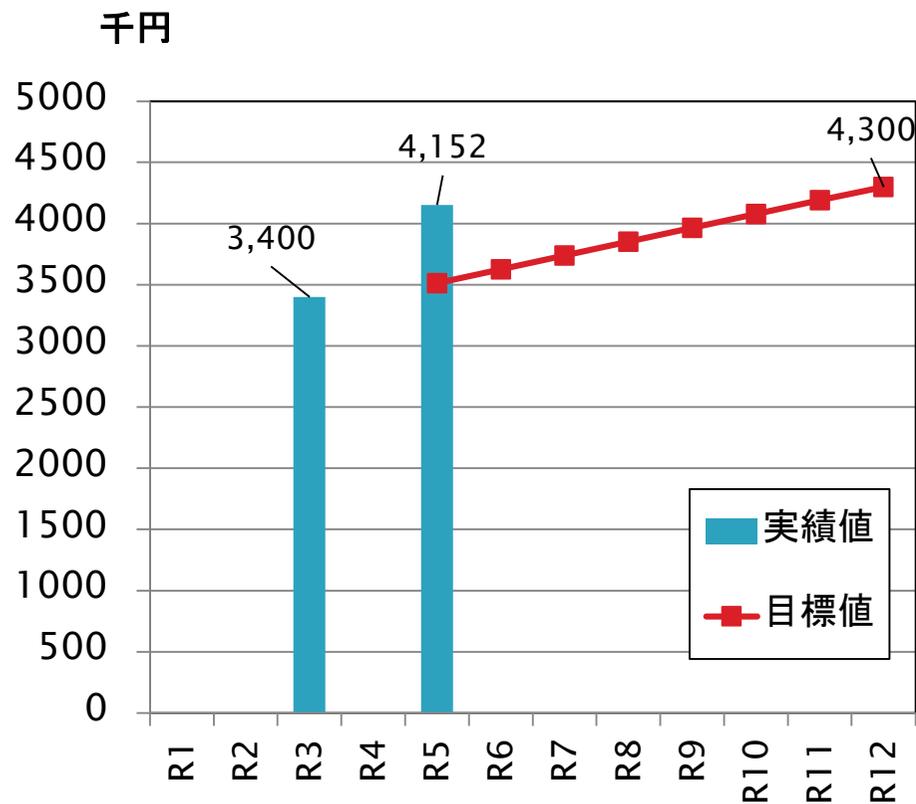
- ・近年増加傾向にあるものの、目標値には届かなかった。
- ・引き続き、幅広い利用や需要に応じていけるよう、素材生産の一層の拡大に取り組む必要がある。





基本指標の達成度

▶ 林業就業者の平均給与



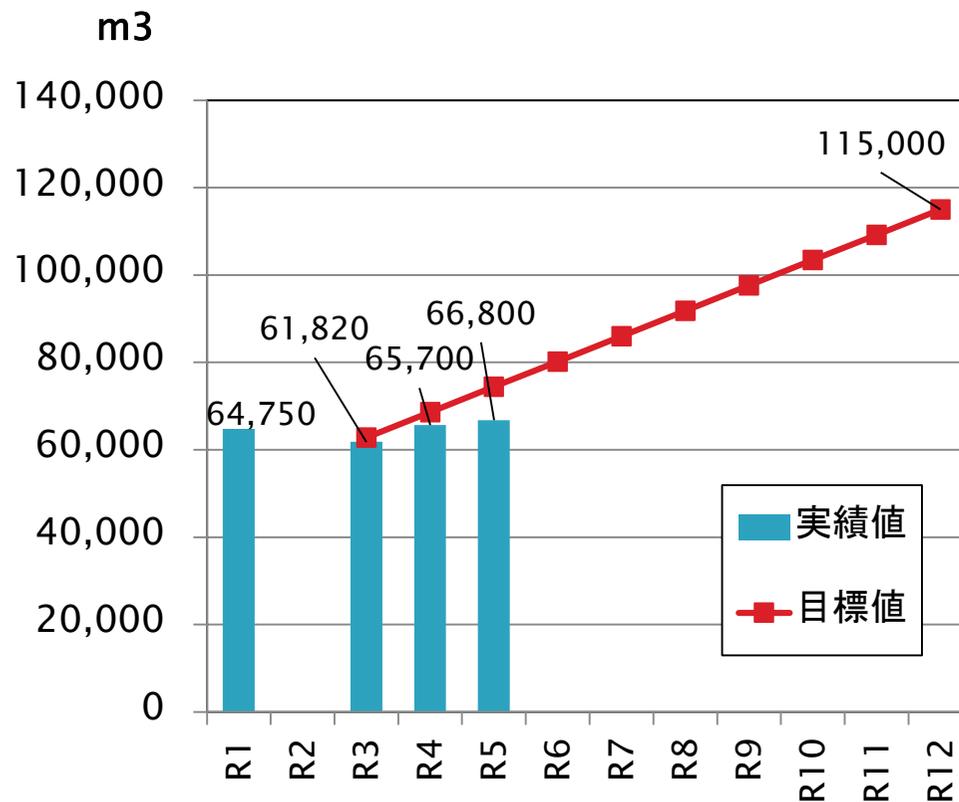
- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・想定していた進捗計画値を上回った。
- ・全産業平均と比較すると依然低位である事から、引き続き改善に向けて取り組みを進めていく。





基本指標の達成度

▶ びわ湖材製品出荷量(原木換算)



- ・近年増加傾向にあるものの、目標値には届かなかった。
- ・引き続き、幅広い利用や需要に応じていけるよう、生産量の拡大および販路の拡大に取り組む必要がある。

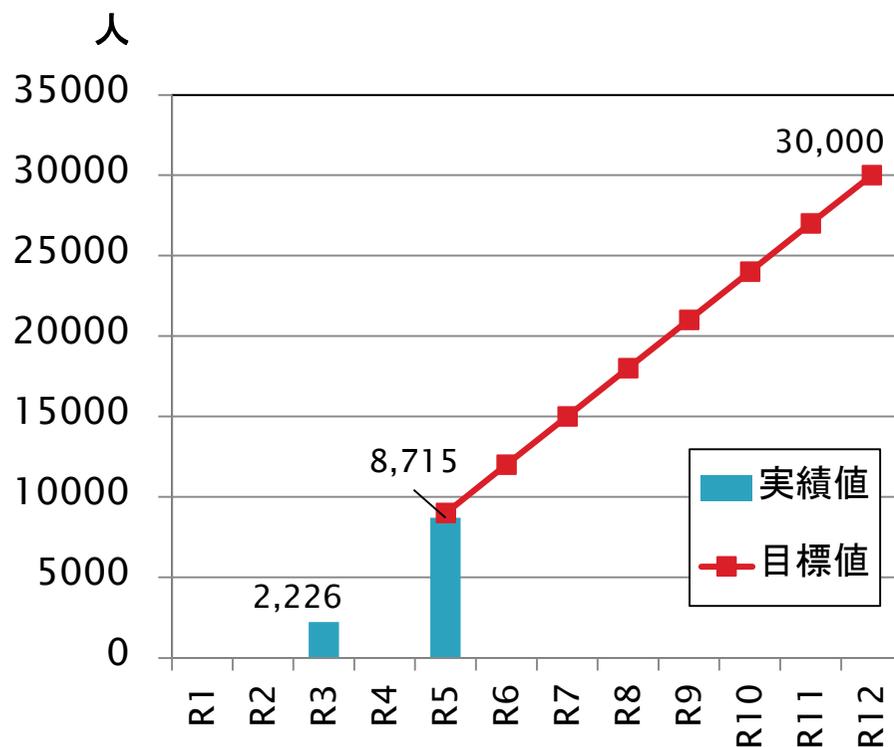


基本指標の達成度



Mother Lake Goals

▶ しが木育に親しむ人の数(累計)



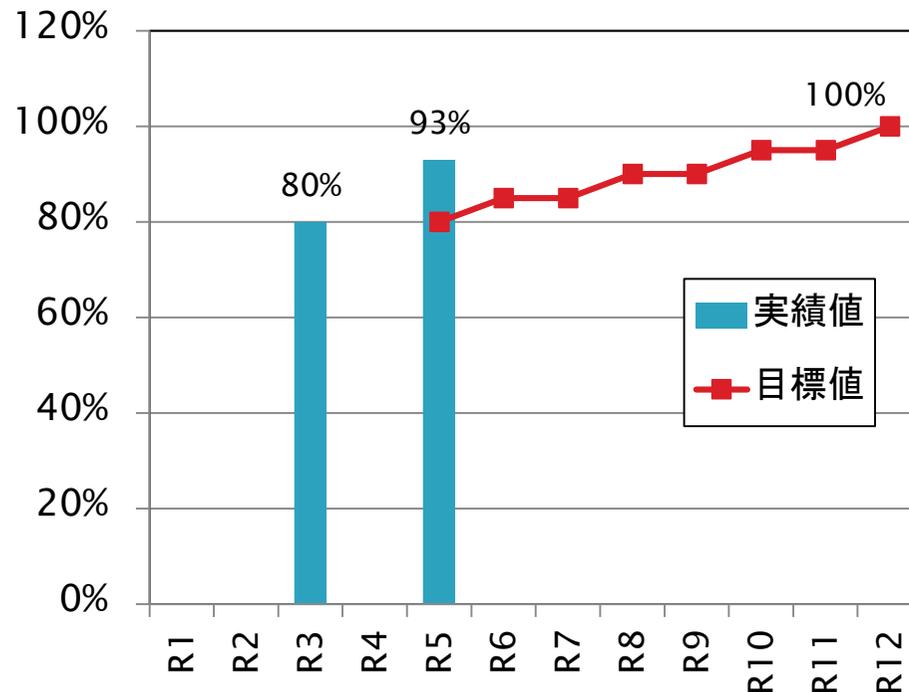
- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・木育イベントの開催と木育講座の開催により、しが木育に親しむ人を増やすことができた。
- ・R7に県立の木育拠点を整備することにより、更なる啓発を実施予定





基本指標の達成度

▶ 県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率



- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・R5は15件中14件について、びわ湖材による内装等木質化が実施された。
- ・1件は、「滋賀県産材」としての利用となった(産地証明が付かない木材)。



この事業は「びわ湖森林づくり県民税」を活用して実施しています。

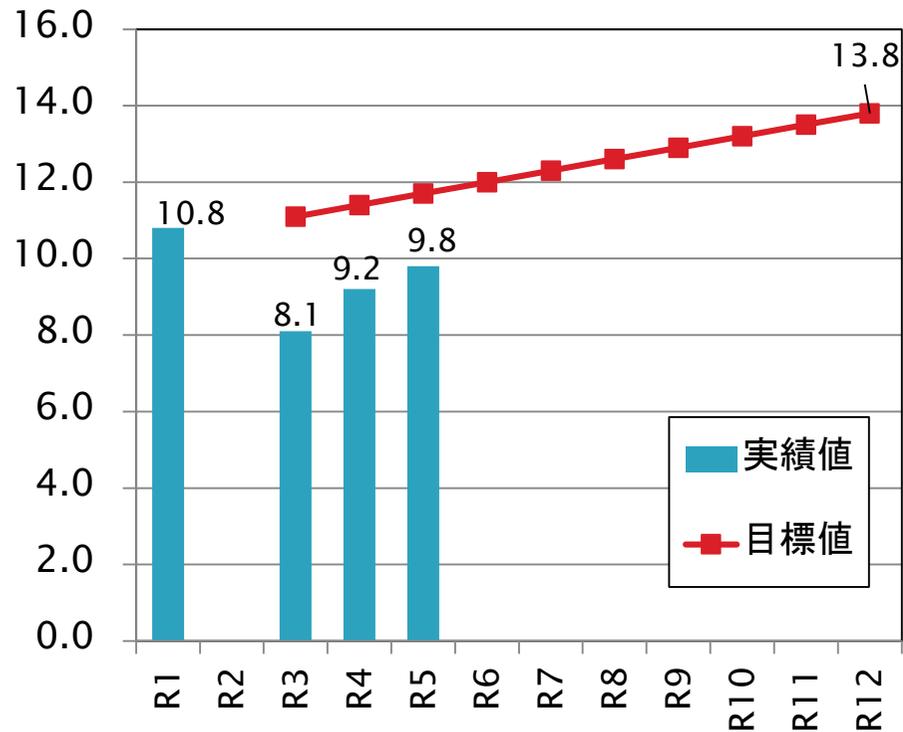




基本指標の達成度

▶ 林業産出額

億円



- ・国統計資料を流用しているため、1年遅れた指標となる。
- ・製材用素材等の価格上昇の影響や燃料用チップ素材の生産量増加等により、木材生産の産出額は増加している。

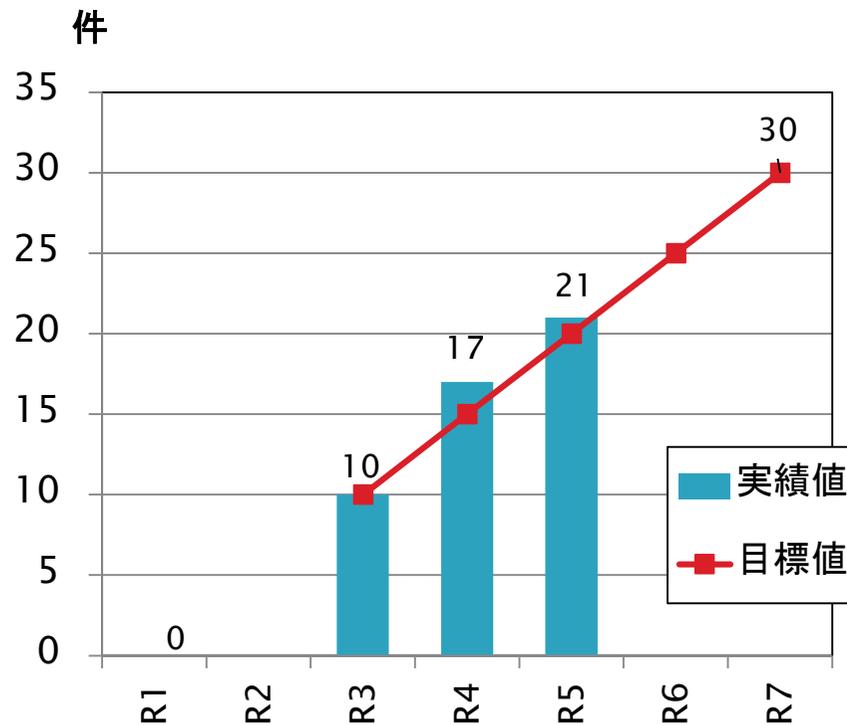




戦略プロジェクトの達成度

▶ 公共建築物木造化プロジェクト

- 県産材を活用する建築設計に関する支援を行った公共建築物数(累計)



・県および市の整備する公共建築物に対して、木造化促進アドバイザーによるアドバイスを行った。

・県産材による設計や工事発注による利用拡大、調達可能な木材による適切な価格や工期設定による施設整備の着実な実施、発注者や設計者の木材利用に関する理解醸成による公共建築物の木造化の推進が図れた。

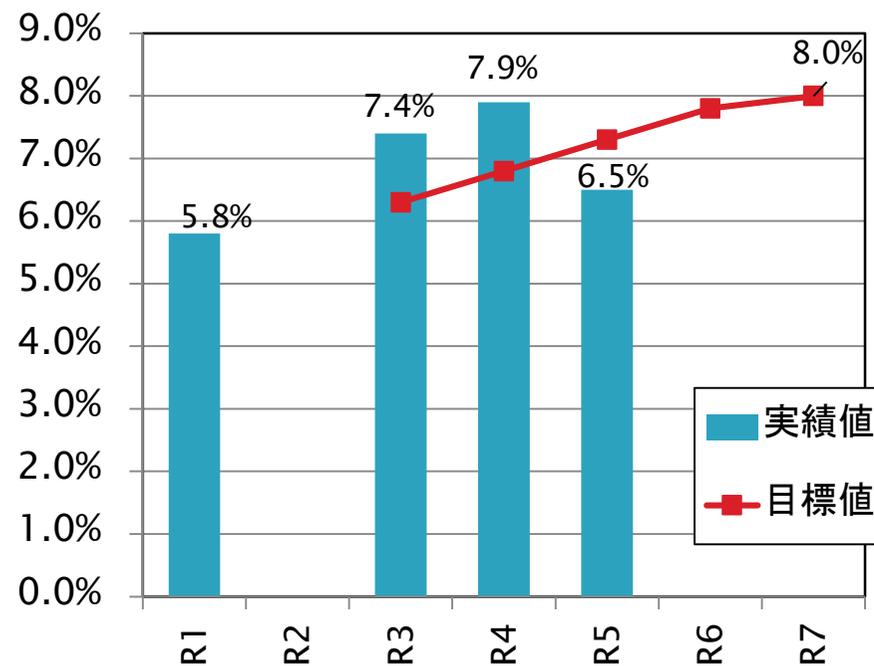


この事業は「琵琶湖森林づくり県民税」を活用して実施しています。



戦略プロジェクトの達成度

- ▶ 公共建築物木造化プロジェクト
 - 産業用建築物における木造率



・公共建築物への木材利用を促進する取組により、R5の産業用建築物の木造建築物の着工数は前年度と同等であった。

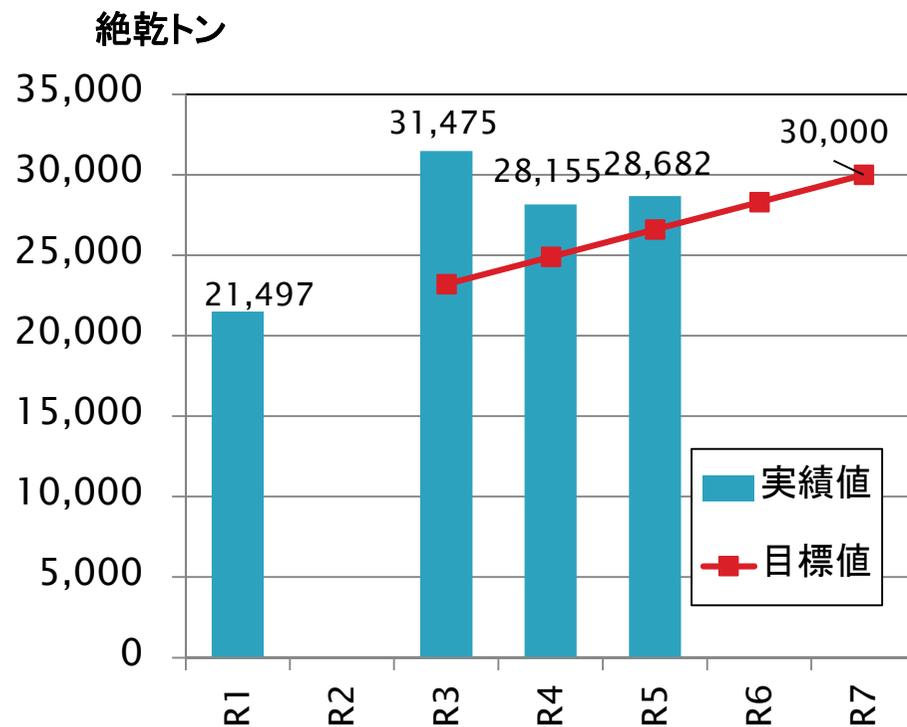
・しかし、床面積の合計は増加しており、規模の大きな建築物（鉄骨造の事務所用途）が増えたため、木造率としては減少したと考える。





戦略プロジェクトの達成度

- ▶ 木質バイオマス地域循環プロジェクト
 - エネルギーとして利用される木質バイオマスの量



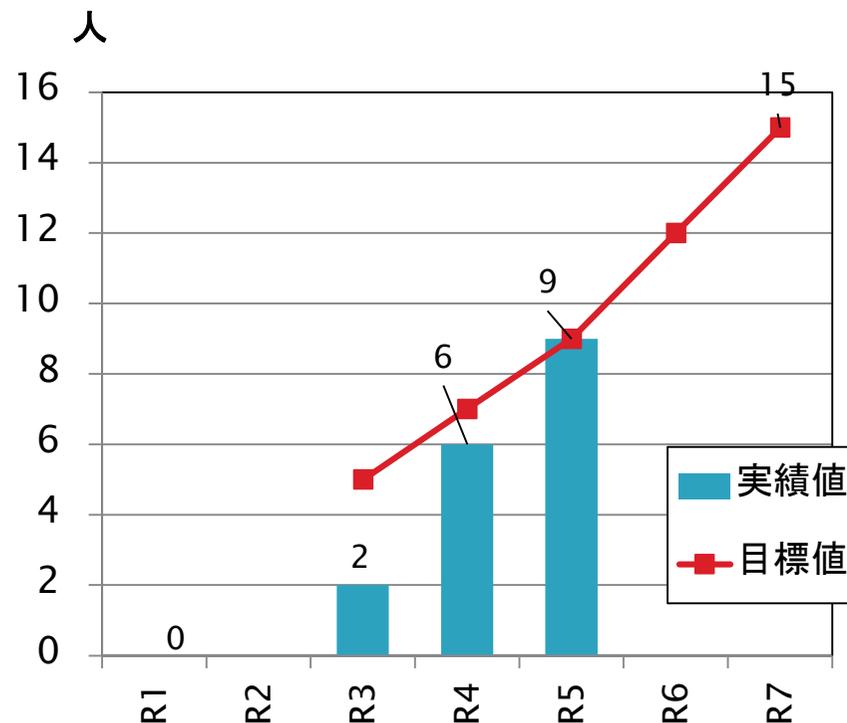
・素材生産量の伸びに応じて、エネルギーとして利用される木質バイオマスの量も若干増加した。





戦略プロジェクトの達成度

- ▶ 木育活動促進プロジェクト
 - 木育指導者の数(累計)



・以前から活動されている2名の木育指導者と協力し、木育講座を開催し、木育指導者の育成を図った。また、講座に参加された方に木育イベントにも参加していただき、今後の指導者としても活動につながるよう取り組んだ。



その他の成果と対応すべき課題



Mother Lake
Goals



- ▶ 森林づくり県民税を活用した事業の成果
 - 1戸建て住宅等への助成(R5 150戸)、公共的施設へのびわ湖材利用の支援(R5 26箇所)等により、生産量の拡大に寄与。
 - 製品開発への支援や産地証明制度の運用により、びわ湖材利用の拡大を後押し。

- ▶ 見直しの方向性
 - 航空レーザ測量など詳細なデータやICTを活用するスマート林業の一層の推進
 - 森林組合合併を契機とした県産材生産・流通の効率化・競争力強化
 - 企業との連携の強化による木材利用の推進
 - 木育拠点施設整備を契機とした、木に触れる機会の更なる創出



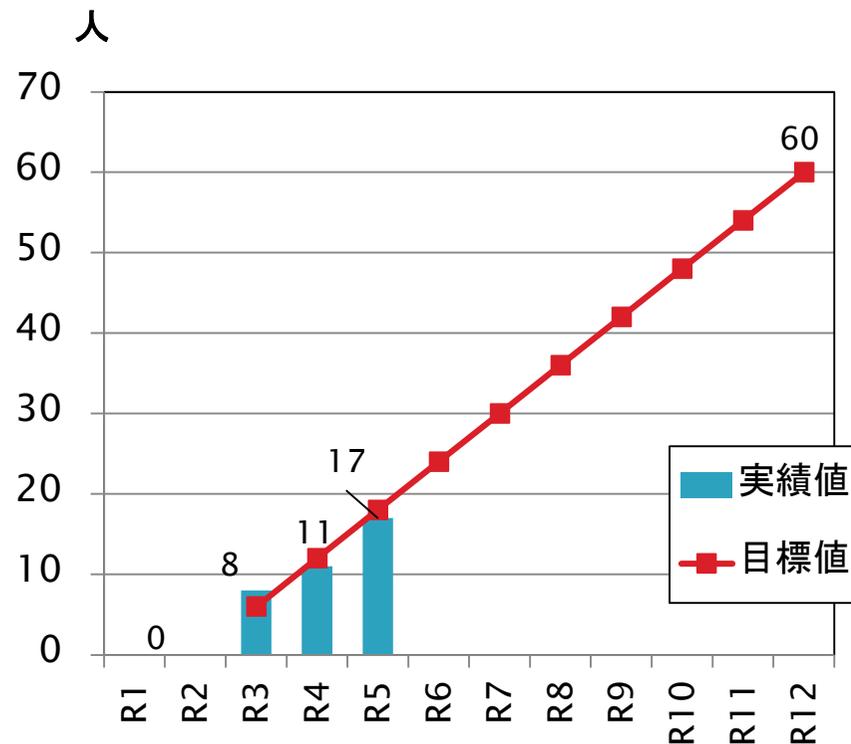
施策4関連

- ▶▶ 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり



基本指標の達成度

- ▶ 滋賀もりづくりアカデミーで技術習得に取り組んだ新規林業就業者数(累計)



・森林作業を安全に行える人材および山村に活力を与えてくれる人材の育成を目標

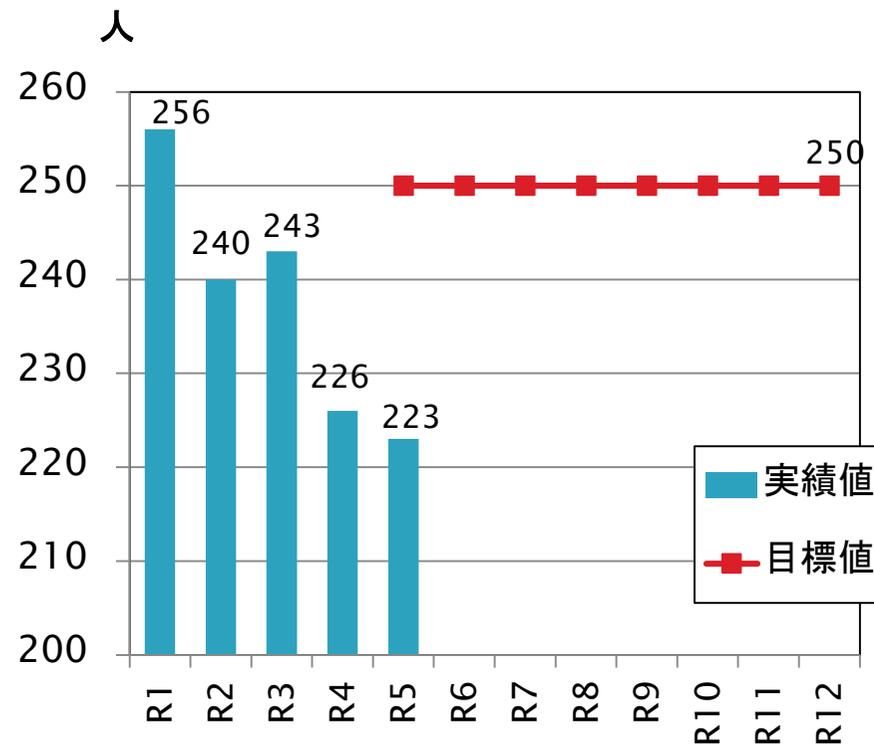
・座学のほか、森林作業の中でも特に被災事例の多いチェーンソー作業に重点を置いた実技研修や、伐採現場において実際に立っている木を伐採する「林業インターン編」を実施。





基本指標の達成度

▶ 林業就業者数



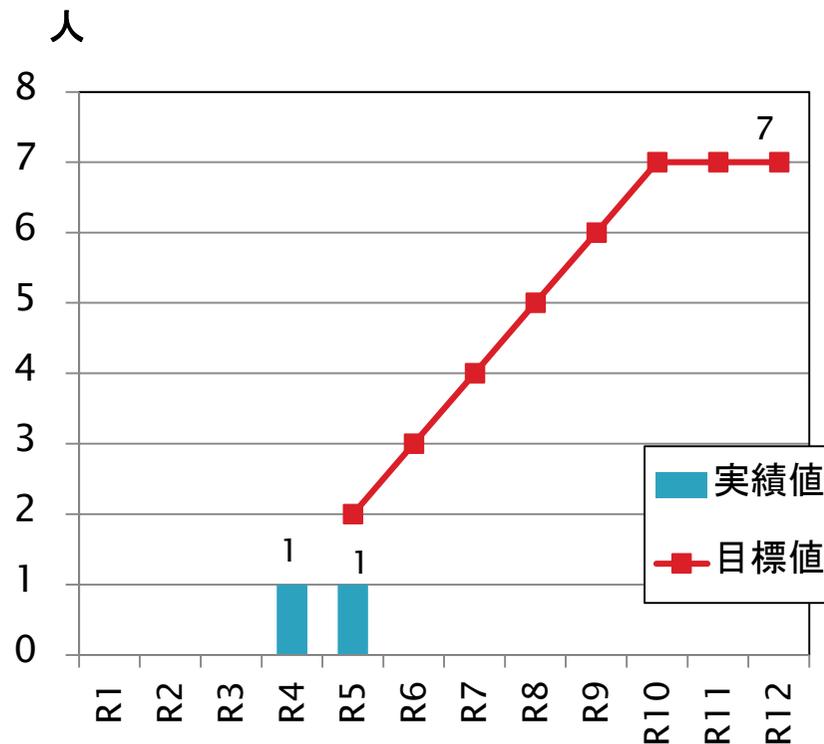
- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・若い新規就業者の確保は一定図られているが、それ以上に高齢就業者の離職が多く、林業就業者数は近年減少傾向にある。
- ・また、高齢就業者も一定数おり、離職による減少が見込まれる。





基本指標の達成度

▶ 森林経営プランナー数(累計)



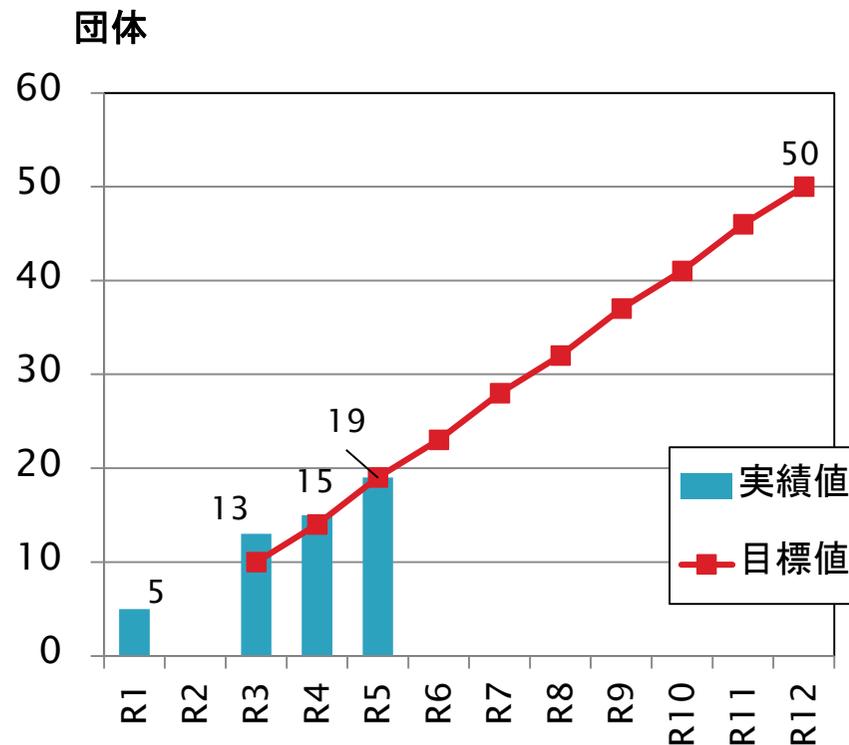
- ・R5改定で新たに追加した指標
- ・森林施業に関する十分な知識と経験を有し、かつ、森林の持続的利用や木材の有利販売等の展開を企画・実践できる人材。
- ・R5年度は育成のための研修を実施し2名が参加したが、資格取得の途上にある。





基本指標の達成度

▶ 自然を活用した幼児教育・保育に取り組む団体数 (累計)



- ・幼児教育・保育に、森林など自然の中での活動を積極的に取り入れている団体
- ・しが自然保育認定制度や補助制度、保育士等スキルアップのための研修会を実施するなど、保育団体等に対する普及啓発を積極的に実施した。

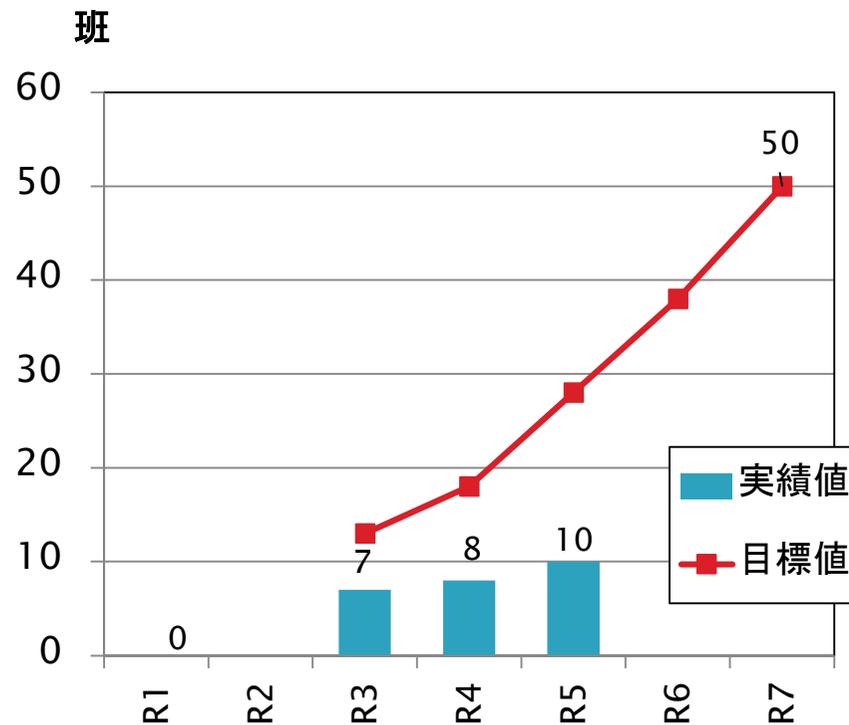




戦略プロジェクトの達成度

▶ 林業人材育成プロジェクト

- 滋賀もりづくりアカデミーにおける既就業者コースで技能向上に取り組む作業班数(累計)



・支援対象となる全作業班(50班)について行う予定であったが、育成対象とする作業班を絞り込み、内容の充実をはかった育成に変更して取り組んでいる。





その他の成果と対応すべき課題

▶ 森林づくり県民税を活用した事業の成果

- 県内の全ての小学4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」の実施(R5 231校 13,371人)



▶ 見直しの方向性

- 木材の生産・流通の各段階における人材の確保・育成等の推進(所得や安全衛生の向上を含む)





総括

- ▶ 本県の森林政策における幅広い課題に対し県民税を充当
- ▶ 引き続き、基本計画に定める4つの施策を推進していく必要がある。